

# 民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

学びの権利をどう保障するか

米大統領選挙 トランプ氏再戦とたたかう市民

所得税の「103万円の壁」って？

6、7面

3面

10、11面

▶ ホームページ [www.dylj.or.jp](http://www.dylj.or.jp) ▶ Eメール [minsins@dylj.or.jp](mailto:minsins@dylj.or.jp)

## いのち危険・カジノと一体

### 万博は今すぐ中止を

2025年4月に大阪・関西万博が開催されます。しかし、この万博をめぐる安全面や予算面などさまざまな問題が指摘されています。また、万博と一体で進められるカジノ誘致にも批判の声が上がっています。一体大阪で何が起きているのでしょうか。日本共産党衆議院議員・辰巳孝太郎さんに取材をしました。(栗山さつき記者)

#### 維新が急転直下で進めた「カジノ一体の万博」

なぜ、日本共産党は「大阪・関西万博中止」を掲げ

ているのでしょうか。

日本共産党は、もともと万博一般に反対はしていません。その共産党が、なぜ延期でも場所を変えるのでなく、「大阪・関西万博中止」を求めているのか。その大きな理由は「カジノと一体で進められている」「いのちが危険にさらされる」の二つあります。

「カジノと一体で進められている」とは、どういうことでしょうか。2014年に大阪府・市がカジノIRを誘致することを方針として決定しました。そして、15年に万博の誘致を決めます。もともと、夢洲を万博会場にするというところは、大阪では検討されていなかったのです。夢洲は、現在も使われているゴミの最終処分場です。巨大イベントは本来で

まとめ、万博も夢洲でやるということがいきなり決められてしまったのです。そのねらいが何かというと、インフラを税金で整備させるためです。カジノは民間事業ですから、本来税金を使ったインフラ整備は不可能です。しかし、国策である万博を夢洲で開催することで、巨額のインフラ整備が税金でできます。こうした絵を当時の安倍政権と大阪維新の会が無理やり決めて、大阪・関西万博の夢洲開催というのを決めてしまいました。

#### いのちが危険にさらされている

二つ目の「いのちが危険にさらされる」とは、どういうことでしょうか。まず、万博会場はゴミ処理場だった場所に建設されているため、当初からメタンガス噴出による爆発事故の危険性が指摘されています。共産党としても、大阪府や大阪市当局などに「危険でないか」ということを再三申し入れてきました。大阪市当局は「対策をしているので大丈夫」と言っていました。その対策というものは、小中高の児童に対して配布し、万博に来てもらうこと

か、今年3月には溶接中の火花にメタンガスが引火して爆発し、コンクリート床が長さ6メートルにわたってめくれる事故が起きました。夢洲はメタンガスのほかにも、一酸化炭素や硫化水素、アンモニアなどの有害物質が発生しています。

大阪府はこの万博に子どもたちを招待しようとしていますが、とりわけ大阪では大阪府がチケットを購入し、それを府内の幼稚園・小中高の児童に対して配布し、万博に来てもらうこと

を計画しています。しかし、この計画に対して、保護者の方々から反対の声が上がっています。教職員へことができるのかという問題もあります。書虫の危険もあります。最近夢洲にあるコンテナヤードと呼ばれる場所からヒアリという書虫が500匹以上発見されています。

会場となる夢洲自体にも安全面で多くの問題があります。まず災害対策です。夢洲がある大阪は近い将来に大規模な南海トラフ地震が起きるとされる南海トラフ津波に襲われる可能性があります。また、風水害、特に台風の通り道となること初1・9倍まで膨らんでもある大阪湾は2018年の台風21号のような被害が起る可能性は否定できません。加えて開催期間中の暑さや豪雨、さらに平地のため落雷のリスクもありません。ところが、開催期間中、国の税金も膨大につき込まれているのです。



▲大屋根リングの上から会場を視察するようす。右から3人目が辰巳さん(11月22日、大阪市・夢洲。写真はしんぶん赤旗提供)

初、万博会場としては、1970年代に大阪万博が開かれた千里や、服部鶴見緑地、りんくうなどのすでに整備された公園や緑地が検討されていました。

ところが、急転直下で、大阪維新の会がカジノを夢洲に呼び込むという方針を

掲げた。その対策というものは、小中高の児童に対して配布し、万博に来てもらうこと

を計画しています。しかし、この計画に対して、保護者の方々から反対の声が上がっています。教職員へことができるのかという問題もあります。書虫の危険もあります。最近夢洲にあるコンテナヤードと呼ばれる場所からヒアリという書虫が500匹以上発見されています。

会場となる夢洲自体にも安全面で多くの問題があります。まず災害対策です。夢洲がある大阪は近い将来に大規模な南海トラフ地震が起きるとされる南海トラフ津波に襲われる可能性があります。また、風水害、特に台風の通り道となること初1・9倍まで膨らんでもある大阪湾は2018年の台風21号のような被害が起る可能性は否定できません。加えて開催期間中の暑さや豪雨、さらに平地のため落雷のリスクもありません。ところが、開催期間中、国の税金も膨大につき込まれているのです。

会場となる夢洲自体にも安全面で多くの問題があります。まず災害対策です。夢洲がある大阪は近い将来に大規模な南海トラフ地震が起きるとされる南海トラフ津波に襲われる可能性があります。また、風水害、特に台風の通り道となること初1・9倍まで膨らんでもある大阪湾は2018年の台風21号のような被害が起る可能性は否定できません。加えて開催期間中の暑さや豪雨、さらに平地のため落雷のリスクもありません。ところが、開催期間中、国の税金も膨大につき込まれているのです。



▲「火気厳禁」と書かれたガス抜き管(写真はしんぶん赤旗提供)